

No. 766

岐阜で一日内閣開く

156F

一日内閣のため岐阜県を訪れた佐藤首相は9月12日、集中豪雨による飛騨川の惨事現場を視察。犠牲者の霊をなぐさめました。翌13日は、県民体育館で一般と対話する一日内閣へ。会場には13人の大臣と一般公募により選ばれた11人の質問者、2200人の傍聴を集め、第一回の岡山以来の盛況ぶりです。一日代議士さんは、物価に対する意見、災害のない住みよい中部圏づくり等の対策をただし、一般との生の対話が進められました。

厚かった派閥の壁

— 社会党大会 —

200F

9月11日から東京、九段会館で開かれた第31回社会党定期大会。選挙の敗北などこのところ黒星つづきの社会党が新執行部を選んで、党の再建に取組もうとするものです。そのたの人事は話合いでと「役員選考委員会」が発足。時間はたてど人事の方は一向に進まず、舞台裏はあいかわらずの派閥劇。会期を一日延長しても、ついに新執行部は決まらず混乱のうちに休会となりました。

今週の焦点

いつまで続く学園紛争

244F

東京神田の学生街、新学期が始まったというのに日本大学の学生は相変わらずデモに、明け暮れている。大学は解決の糸口すらつかめないままだ傍観するのみ。学園の荒廃は急ピッチに進んでいる。デモのたびに被害を受ける商店街。だが他の大学では紛争も新しい段階に入ろうとしている。それは一般学生擁護である。法政大学では、暴力学生は去れ、と中核派の学生を追放。慶応でも本部占拠をやめようと署名運動に一般学生が立ちあがった。だが大学の根本的問題の解決は東大の例をとっても、まったく見込みがたっていない。